

リサイズ

VOL.11



イラスト まかいみる

福岡県在住。1999年より、子どもの頃から大好きだった絵を描くことを仕事とする。2011年7月にはスマートフォン用無料アプリ「メチャくんのいつもいっしょ」をリリース!

ホームページ

<http://milart.info>

ブログ

<http://milart.info/blog>

カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

NAGASAKI TIMBER CORP.

福岡県古賀市天神5-10-5

0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208

<http://www.howsetop.com>

支店

- ◎本社総合展示場
- ◎福岡西展示場
- ◎福岡南展示場
- ◎(株)長崎材木店リアルエステート
- ◎ランドシップカフェ

事業部

- ◎注文住宅事業部
- ◎ログハウス事業部
- ◎リフォーム事業部
- ◎不動産事業部
- ◎ライフサポート事業部



ARIZONA

白木のスタッフ紹介

リフォームアドバイザー

～ 営業 西本 公平 ～

日々奮闘し続けるスタッフの方を様々な角度から紹介する“スタッフ紹介”コーナーです。

今回は“営業の西本さん”に1日中同行させていただきました。

今回もねばっこく密着させていただきます。



ARIZONA 白木

広告会社勤務。“お客様に適した広告物づくり”をモットーに日々奮闘中。今年はとにかくダイエット頑張ります！

密着!!
西本さんのある1日



7:00～8:00

7:00に出社して、すでに仕事されていました。



8:00～8:15

月曜日は長崎材木店グループ全員での朝礼に参加。



本日着工。
気が引き締まります。

8:30 出発

通称ペンツにて養生シートをもって本日着工のお宅へ。



9:00～10:20

～岡垣町 T様邸～

長崎材木店に入社前は、長年現場の管理をしていたので、手作業も手慣れたものです。



この時間、
少しホッとします。

11:40～13:15

～福津市 M様邸～

引き渡し確認後、会社へ一旦帰社し、事務処理と昼食です。



13:30～14:35

～古賀市 E様邸～

終止和やかな雰囲気、壁などの色決めます。
(写真左:インテリアデザイナー 田川さん)

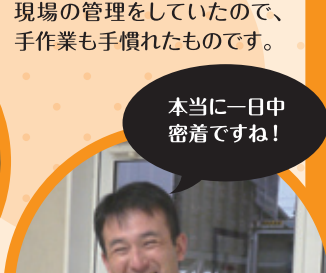


一旦帰社後
再び

15:50～16:20

～岡垣町のT様邸～

「気になることがあって!」と、朝お伺いしたお宅を再訪問です。すると…



本当に一日中
密着ですね!

シロアリ発生!



「迅速な工事の段取りをして、お客様に良いものを早くお引き渡ししたいんです。」



17:00～17:15

～東区 H様邸～

ハンディマンの大夫本さんと合流してお見積りの提出です。

自分の目で現場を
確認したいんです。



17:30～17:40

～古賀市 K様邸～

現場の進行状況の確認です。

17:50 帰社

帰社後、社内会議の“5S会議”に出席。

22:00

「おかえりなさい!」

大好きなわが家にご帰宅～

※九重大橋にて

Profile

◎西本 公平さんのプロフィール

昭和50年2月25日生まれ、39歳。福津市出身。熊本工業大学を卒業後、近畿地方の高速道路やダム等の建設現場で施工管理業務に携わる。“できれば地元密着型の企業で働きたい!”という想いから長崎材木店へ転職。

●大切にしていること／

お客様にとって本当に必要なものを提案すること

●趣味／車・バイク・重機などの機械いじり

西本 公平のシロアリリーロメモ

◎ヤマトシロアリ／

土台から1m位までを食べ、
周辺の他の家へ移動するシロアリ。

◎イエシロアリ／

土台などの重要な部材を中心に、
家ごと食べる危険なシロアリ。





ARIZONA
二階堂の

OB様訪問

「光と影、素材の良さを最大限に引き出した住まいへ」
～家づくりの本取材風景～



宗像市
R様邸

築38年の平屋にお住まいのR様。
新築ではできない空間が広がる
家の中には、R様の“想い”と、
設計士である八川さんの
“技術”と“経験”がありました。



ARIZONA二階堂

広告会社勤務。広告も、人生も、
まだまだ半人前。雨の日も風の日
も“ARIZONAの元気印”として
常々奮闘中。

今回のリフォーム ご提案のポイント！

- ① 元の家の魅力を
生かしたリフォーム。
- ② ステンレスキッチンと導入と
漆喰の壁。
- ③ タイルを敷き詰めたバスルーム。
- ④ 素材感を生かした
シンプルな洗面台。



漆喰壁の色は調理する際の油はねも考慮し、
日本の伝統色である「オリーブグリーン」に！



漆喰を混ぜた壁について説明中です！



この電球は、奥さまが
18歳の時に買ったものだそうです！
空間になじんでいますね。



ピカピカ！



窓の光が差し込み、とても
清潔感溢れる空間です。



子供さんのお部屋です。



お風呂の壁には、消臭効果もある
炭を混ぜた、深みのある
黒い漆喰を使用したそうです！



真剣です！



黒電話発見！もちろん本物です！



打ち合わせの半分以上は
リフォームの内容より“感覚”の
話だったという八川さん。



お二人とも今後のために撮影です。



「新しくすることだけではなく、
元の状態に戻してあげる事も
リフォームです」という八川さんの
言葉で、リフォームに対する
イメージが大きく変わった
取材となりました。



『家づくりの本』では次ページの
ように掲載されました！

R様、取材にご協力いただき、誠にありがとうございました！



ステンレスのひんやりとした表情は漆喰壁や木の建具ともよく馴染む。照明器具は奥さまが高校時代に購入なさったもの



漆喰の塗り壁も印象深いキッチン。昔の土間の台所のような静けさがあり、銅からのぼる白く温かな湯気がよく似合う

宗像市在住
Rさんの住まい

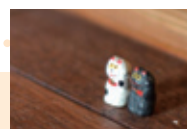


静かに息づく凛とした美しさ 古い家ならではの魅力を引き出す

長崎材木店 リフォーム事業部

リノベーション
Renovation
Works 04

- 元の家を魅力を生かしたリフォーム
- 漆喰壁とステンレスのキッチン
- タイル貼りのバスルーム
- 清潔感あふれる洗面台



70年代のモダンな感性息づく
一軒の平屋との出会い

「昔の欄間があるような、味わい深い日本の一軒家に住みたい」。リフォームを前提に家を探していたRさんが出会ったのは、築38年の平屋。水廻りは傷みが目立ったものの、建具や間取りには今見てもモダンな70年代のデザインが息づいており、ひと目で気に入ったという。

ご夫妻はまず、歩くとギシギシと音が鳴る廊下の修繕を「長崎材木店 リフォーム事業部」に依頼。この工事を機にR邸を訪れた設計担当・八川一郎さんとリフォームアドバイザー・徳永大祐さんは、奥さまが理想とするキッチンのイメージを聴いて心が躍ったという。

「それは、土間の床だったり、光が

リフォーム後、余った木材で玄関に靴棚を設置。何がどこにあるのか一目でわかる上に、掃除もラクと好評





右は娘さん、左は息子さんの個室。それぞれ、壁の一面だけを落ち着いた色のあるグリーンやピンクで塗装。床材はすべらかな質感のチーク材を採用



洗面台は小さく細長い白いタイルを使い、シンプルに。壁や天井も昔の家のイメージを予測しながら、あえて真新しくならないようにデザイン



美しく補修を施した廊下にて、R邸のリフォームを手掛けた長崎材木店の八川さん(左)と徳永さん(右)。



在来工法で設計した丸いモザイクタイルを敷き詰めた浴槽。天井や壁はオイルを馴染ませた深みのある黒い漆喰

さす窓辺に映える白い湯気だった、ステンレスの冷たい表情だったり、ごくごく抽象的なキーワードでした。しかし、そのキーワードがこの平屋、Rさんご夫妻がお持ちの家具や食器とマッチして、いつしか具体的なリフォームプランへとつながっていったんです」と八川さんは振り返る。

家本来の魅力を丁寧に時間をかけて取り戻す

Rさんご夫妻と八川さんらが話し合いのもとに決めたリフォームテーマは、「家を元に戻してあげよう」。この家を持つ本来の魅力を取り戻すためにはどうすればいいか。

それはある意味、家全体をまるごと真新しくするよりも難しい課題でもあった。慎重に、慎重に、キッチンやバスルームなどの水廻りを構成する素材や色を吟味。ステンレス製のシンク

を入れたキッチンの壁には、その冷たい表情を優しく受け止めるオリブグリーンの漆喰を塗り、バスルームには昔のお風呂を思い出す小さなタイルを敷き詰めた。

特に時間をかけたのがキッチン。漆喰壁には調理する際の油はねなどの汚れも予測して、上からオイルが塗られている。何度も実験を繰り返して汚れがよい具合に味わいとなるように調整。時間をかけてオイルを塗り重ねて、より味わい深くなるように「育てていく」楽しみもある。手間をかけているだけに、シンプルでありながら奥行きのある落ち着いた雰囲気仕上がりになった。

すべてを真新しくするだけがリフォームじゃない。こうして「家を元に戻してあげること」も、ひとつの立派な選択肢。凛とした美しさが息づくR邸は、リフォームの新しい可能性を教えてくれている。

COMPANY DATA

長崎材木店
リフォーム事業部

福岡県古賀市天神5-10-5

連絡先

☎ 0120-30-0354

HPアドレス

www.howsetop.com



漏水補修

漏水したとお問い合わせを頂き、給水管の補修工事を致しました。給水管の周囲を掘り起こしたところだいぶ漏水していたので、給水管を取り替えて補修致しました。漏水も治まりお客様にも喜んで頂けました。水回りのトラブルもハンディマンにおまかせ下さい。

after



before



アンテナ取り替え

テレビのアンテナを取り替えて欲しいとお問い合わせを頂き、アンテナ取り替え工事を致しました。危険な倒れかけたアンテナ一式を取り外し、新しい物に交換致しました。テレビの写りが悪いなどの問題もハンディマンにおまかせ下さい。

before



after



どんなことでもお気軽にお問い合わせください!

©ライフサポート課 ハンディマン

TEL.0120-30-0354

08様
限定

ハンディマン
割引チケット

網戸(大)貼り替え1枚無料券

有効期限/2014年4月1日(火)~6月22日(日)

編集後記

建設業?木材業?どんな業態?

お世話になります。長崎です。

最近、意識しているのは、我が社はどちらの方に進んでいるのかということ。社名は材木店。シーラカンスのような社名。何てったって創業明治30年ですから…。



知らない人にとっては木を担いでいる人がたくさんいるのかな?大きな丸太がたくさんあるのかな?本当、知らない人にとっては材木屋なんてほとんど縁のない業界。相当、一般人が踏み込むにはハードルが高い社名。

しかしながら実態は本業で言えば木の家、ログハウス、リフォーム、不動産。お庭とグリーン、インテリア家具、コンテナハウスの制作。いつの間にか、友達絡みで海辺のモデルハウスを使ったカフェ、実家の蔵を改装したバー、そしてサーフショップ。音楽&オーディオ、音楽ラジオ番組のスポンサー、秋のサーフィン大会のスポンサーはたまたライフセイビング活動のサポートetc…。



社名は材木屋なのだけれどいったいに屋さんを目指しているのだろう!?一般の人にどう説明したらいいのだろう?

木材業、建設業、製造業、販売業、飲食業。こういった業態にとられるのではなく、新しい業態を表すものは無いものかとあなたのお店はどんなお店ですか?と聞かれた時に一



言で言える言葉はなにか。キーワードを並べて行くなり生活、暮らし、愉しみ、癒し、潤い、安心、リフレッシュ。つまり、暮らしを楽しむ為の空間作りのお店かな。○○ショップというならば使い古された言葉かもしれませんが、「ライフスタイルショップ」暮らしを楽しむ為のライフスタイルショップ。

私はプロデューサー。自己紹介するならば私は「ライフスタイルショップ」を経営するプロデューサー。どんなお店かと言いますと、暮らしを楽しむ人の為のお店といった感じです。

代表取締役 長崎 秀人